

36. 家庭修理章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 家具、建具などの破損箇所を、2回以上修理した経験があること。	報告書の提出		
(2) ア 障子の切り張りとし張り替えができること。 イ 網戸の網の張り替え、または壁の修理をした経験があること。	報告書の提出		
(3) 家庭の刃物類(大工用具、炊事用具)を研ぐことができ、その手入れと安全な保存を怠らないこと。	実演		
(4) 家屋内外の掃除と手入れを少なくとも1か月続け、手入れ、修理記録を提出すること。	報告書(記録)の提出		
(5) 自己の住居の電気、ガス、水道及び排水について主要な器具、装置の種類、構造、配置ならびに機能を調査、理解し、それらの小破損の修理、または故障の応急手当ができること。	報告書の提出		
(6) モルタルの作り方、使い方、ハンダ付けに必要な材料と工具の使い方、及び接着剤の使用法を知り、これを用いて修理または、工作を行った経験を有すること。	報告書の提出		
(7) 塗料(水性・油性)により、家具または家屋内外を塗装した経験を有すること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

37. 環境衛生章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 環境衛生の意義を知ること。	口述または記述		
(2) 日常の掃除を自発的に行い、道路・駅前など公共の場所の清掃や町の美化活動、再資源化活動に積極的に参加すること。	報告書の提出		
(3) 蚊、ハエ、ゴキブリ、ネズミ、その他人間に害を与える動物、虫等5種類について、次の説明ができること。 ア 種類と発生場所 イ 生態と習性 ウ 伝播する病毒 エ 繁殖力 オ 駆除法	口述または記述		
(4) 家庭内でできる簡便な消毒法及び下水、水たまりなど病毒の発生源となる場所の消毒法について説明し、その使用薬剤を知ること。	口述または記述		
(5) 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で指定された、次の病気に関して、主な症状、伝染経路を知ること。 ア 細菌性赤痢 イ 腸管出血性大腸菌感染症 ウ 破傷風 エ つつが虫病 オ 日本脳炎	口述または記述		
(6) キャンプにおける用便、ゴミ処理ならびに食糧保管について、衛生上注意する点を知り、実際に1班が使用するのに十分な便所、ごみ穴を作った経験があること。	報告書の提出		
(7) 3泊以上のキャンプにおいて衛生管理項目を作成し、隊長の承認を受けること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

38. コンピュータ章・新

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 次のことができること。 ア コンピュータの歴史について説明する。 イ コンピュータの仕組み及びハードウェアとソフトウェアの違いとその役割について説明する。 ウ アナログ信号とデジタル信号の違いと、どこで使われているかについて説明する。 エ 10進法、2進法及び16進法について説明し、与えられた数字を3種の進数で表記する。	口述または記述		
(2) 次のことができること。 ア 入力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 イ 出力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 ウ 記憶装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 エ 各種ケーブル(端子)の種類を列挙し、どのような機器で利用されているか分類する。	口述または記述		
(3) プリンター・スキャナーなど、外部入出力装置を5種類パソコンに接続し、実際に使用できること。	実演		
(4) パソコン内蔵のメモリ・ハードディスクなどのハードウェアを交換できること。	実演		
(5) 以下について方法を説明し、実演すること。 ア OSをアップデートする。 イ 添付ファイルを付けたメールを送受信する。 ウ 複数ファイルをひとつにまとめ圧縮し解凍する。 エ データをバックアップする。	実演		
(6) 現代社会における情報・通信技術について以下を説明し、自身の見解を述べること。 ア 一般社会での利用状況と人間生活との関連 イ 学校での利用状況と学習向上にもたらす効果 ウ 依存することの是非	発表		
(7) 新聞やインターネットの報道で、情報・通信技術に関する新しい技術を見つけ、内容・応用分野・今後の進展などを報告すること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

30. コンピュータ章・旧

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 次のことについて説明すること。 ア コンピュータの歴史 イ コンピュータの仕組み及びハードウェアとソフトウェアの違いとその役割 ウ アナログ信号とデジタル信号の違い エ 10進法、2進法及び16進法	口述または記述		
(2) 次のことについて説明すること。 ア コンピュータの歴史 イ コンピュータの仕組み及びハードウェアとソフトウェアの違いとその役割 ウ アナログ信号とデジタル信号の違い エ 10進法、2進法及び16進法	口述または記述		
(3) 次のことができること。 ア オペレーティングシステムについて説明する。 イ プログラム言語を3種類あげ、その用途を説明する。 ウ コンパイラにおけるソースプログラムとオブジェクトプログラムについて説明する。	口述または記述		
(4) 次の2つの問題のフローチャートを書いてプログラムを作り、コンピュータに入力(インプット)し、実行(ラン)させ、答えを出力(アウトプット)することができる。また、できあがったプログラムを保管(ストア)し、再利用(リラン)することができること。 ア 1から100までの整数の和を求める。 イ 最近5回の隊集会の個人別と全体の出席率を算出する。	作品の提出		
(5) データベース、表計算、ワードプロセッサ、グラフィックスから3種類のソフトを選んで、それぞれについてスカウト活動に関係する作業をする。	口述または記述		
(6) コンピュータは多くの分野で用いられているが、コンピュータの利用と人間生活との関連を述べること。	口述または記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印